

〇〇プロローグ

ようやく目が覚めた様だな……

おはよう、お前の拷問を担当するアデーレだ……よろしくな……クスクス。

お前は運がいい……私に拷問してもらえるんだから……

いや、運が悪いのかな？

私が喋っているのに何故下むいてる……ほら、こっちを向け！

ん？ほう……へー……

よく見ると私好みの顔をしているじゃないか……

何故私自らが拷問などを……と思っていたが、クスクス、そういうことか……

そうだなあ……お前にチャンスをやろう

私の足にキスする事ができたらお前を開放してやる……

拒否するなら予定通り拷問だ……クスクス。

ほら、このブーツで蒸れた私の足にキスをしろ……愛おしそうにな……クスクス。

ただキスするだけ……それだけで拷問から開放されるんだ。

とても魅力的な提案だろ？

どうした？ プライドが邪魔してできないか？

別に嫌ならいいんだ……どちらにしても私は面白いからな

ほう、しないのか……

ん？ ちょっとまで、股間のそれはなんだ？ もしかして……勃起してしまったのか？

クスクス、クスクスクス……

「ちがう」だと？ 何が違うんだ？ そのパンパンに膨らんだ股間はどう説明するつもりだ？

クスクス、足にキスをしろと言われて勃起してしまうとは……

本当にキスをするバカは今まで山のように見てきたが、お前の様な奴は初めてだ……

バカな奴なら、死ぬまでいたぶって殺すつもりだったが……気が変わった。

今からお前を私の物にしてやる

ちようどおもちゃが欲しかったんだ……

私好みの顔だし、背丈も私より小さくて丁度いい……たっぷり可愛がってやるぞ……クスクス。

何？ 「お前の物になったりしない」か……威勢がいいな……ますます気に入った……

だが、勘違いはするなよ？ お前が生きるも死ぬも私の気分次第……

殺されなくなったら私の言う事には従うことだ……

クスクス、すぐに私の物にしてやるぞ……

他の事などどうでもよくなるぐらい私でいっぱいにして、

私なしじゃ生きられない体にしてやる……

ほら、お前のここ、おちんぼ……さっきよりビンビンになっているぞ……
体は正直だな……ちんぽは私に可愛がられたくて仕方がないみたいだ……

クスクス、これからお前をしつかりと調教してやるから……

まずは服を脱いでベッドに座るんだ……
ああ、お前は動けないんだったな……仕方無い……私が脱がせてやろう……

クスクス、威勢はいいのにちんぽは小さくてかわいいな……それに皮かむり……
ん？ どうした？ ちんぽ見られるの恥ずかしいのか？
そうだな、こんな情けないちんぽ、見られるの恥ずかしいよな……
でも大丈夫だ、私は好きだぞ。おまえのちんぽ……かわいいじゃないか……クスクス。
すぐに気持ちよくしてやるからな……

ほら、コレがなんだか分かるか？ そうだ、ストッキングだ……クスクス。
私の足の匂いがたっぷり染み付いたストッキング……嗅ぎたいだろ？
足にキスしろと言われて勃起してしまう程、足が大好きだもんな……

何、好きじゃないのか？ クスクス。
まあ、どちらでもいい、どうせすぐに好きになる……クスクス。

顔に押し付けてやるから、そのまま深呼吸しろ……
拒否すればどうなるかわかってるよな？

クスクス、そうだ、それでいい、ほら……吸って……吐いて……吸って……吐いて……
いいぞそのまま続けろ……もつと嗅いで私の匂いで頭の中いっぱいにして……
ご主人様の匂いをしっかり覚えるんだ……
吸って……吐いて……吸って……吐いて……

クスクス、どんどん息が荒くなっているぞ……そんなに足の匂いが気に入ったのか？

違う？ 何が違うんだ？ お前は足の匂いで興奮する変態だろう？
その証拠に……ほーら、お前のちんぽ……硬くなってる、クスクス。
足の臭いを嗅がされて興奮してしまったんだろ？ こんなにして……
お前は嘘が下手だな……クスクス

ほーら、情けなく勃起させたちんぽ……だーい好きな足で踏んでやろう……クスクス。
いくぞ……私の足がお前のちんぽを……ぐぐって……

ほら、ほらっ……クスクス……んっ……んっ……
どうだ？ ちんぽを足で踏んでもらえてうれしいだろ？ クスクス。
お前のちんぽ、もつと踏んでくれと言わんばかりに私の足をグイグイ押し返して来るそ……
かわいい奴め……このまま足を上下に動かして足コキしてやろう……クスクス。

ほら、スリスリ……スリスリ……ズリズリ……ズリズリ……

どうだ？ 足の匂い嗅ぎながら、ちんぽを足でもてあそばれる気分は……クスクス。
聞くまでもなかったな……ちんぽこんなに固くして……息もはあはあ……
最初の威勢はどうしたんだ？ クスクス。

ん？ ああ、そうだったな……私の言う事を聞かないと殺されてしまうんだったな……
お前は仕方なく足の臭いを嗅いで、仕方なくちんぽ踏まれてるんだよな……

クスクス、でも、何でだろうなあ……お前のちんぽ、先っぽから涎をだらだら垂らして喜んで
るみたいだぞ……

こんなに我慢汁垂らして必至に匂い嗅いでるのに……仕方なく、なのか？
クスクス、違うだろう？ 本当は気持ちよくて仕方ないんだろ？

拘束されて、足の匂い嗅ぎながらちんぽ踏まれるの気持ちいい……
命令されて虐められるのが嬉しくて嬉しくて仕方無い、女の人に負かされたい……クスクス。
もっと自分に素直になるんだ……そうすればもっと気持ちよくなれるぞ……クスクス。

ほーら……今もなじられて、我慢汁ドロドロ溢れてきた……

我慢汁のせいで、ちんぽ踏まれる度にやらしい音、出てるぞ……
ヌチヌチ、ヌチヌチヌチューって……やらしいなあ……えっちだな……クスクス。

ほら、乳首もさわってやろう……サワサワ、サワサって……クスクス。

サワサワ、サワサワ……

ほら、乳首もうビンビンなってるぞ……それに、あっ、あっ、って女みたいな声だして……
クスクス、男なのに乳首で感じるのか？

これがいんだろう？ コリコリ、コリコリコリコリ、って……
それに、摘んだり……弾いたり……いっぱい触ってやるからな……

クスクス、乳首触ったら、また我慢汁あふれてエッチな音が大きくなってしまったな……

なあ、この我慢汁でヌルヌつになったちんぽに私のツバを足したらどうなるだろうなあ……
もっとヌルヌルして気持ちいいと思うんだが……クスクス。

どうだ？ ツバたらししてほしいか？
もっとヌルヌルぐちよぐちよにして足でズリズリーって……気持ち良い、あ・し・こ・き……
してほしいだろ？

クスクス、簡単に頷いて……もう気持ちよくなることで頭がいっぱい……かわいい……クスクス。

ほら、いくぞ……ぐちゅぐちゅ……
んああー

クスクス、ほーら、お前の我慢汁と私のツバが混ざりあって、さつきよりぐちゅぐちゅだ……
ヌルヌルして気持ちいいな……やらしい音も大きくなって、ヌチヌチ、ヌチヌチヌチューって……
エッチだな……クスクス。

乳首にも垂らしてやるからな……んああー……ススス……

反対側も……あぁー

クスクス、乳首もヌルヌルになってしまったな……クスクス。

ほらほら、ヌチヌチヌチヌチーって……

乳首もちんぼもぐちよぐちよで気持ちいいな……頭の中も足の匂いでいっぱいだ……

ヌチヌチ、ヌチヌチ、グチュグチュ、グチュグチュ……

ほら、もっと気持ちよくなっていんだぞ……

このまま何も考えずに気持ちよくなって情けなく敗北おもらし、しような……

足の匂い嗅ぎながら乳首とちんぼぐちゅぐちゅにされて……ぴゅっぴゅっぴゅーって……クスクス。

本当はわかってるんだろ？ 私に負けちゃダメだって……

でも、もう気持ち良くなる事で頭がいっぱい……気持ちよすぎてもう何も考えられない……

もっともっと気持ちよくなりたい……敗北おもしろしたい……

いいんだぞ……このまま私の足にぴゅっぴゅっしてしまえ……

自分より強い女の人にちんぽ踏まれて気持ち良くなるのは当たり前……

何も恥ずかしいことはない……

クスクス、ん？ もう射精しそうなのか？ 煽られてぴゅっぴゅしたくなったのか？ クスクス。射精したかったら、ちゃんとおねだりしないと……なさけなく射精お・ね・だ・り……クスクス。

「アデーレ様射精させて下さい」

って……おねだりするんだ……そうすれば気持ちよく射精させてやる……

どうだ？ 迷う事などないだろう？ おねだりするだけで気持ちよく射精させてもらえるんだ……

……

ほら、おねだりしてしまえ……

そうすれば気持ちよーく、ぴゅっぴゅ、させてやるぞ……クスクス。

ほらほら、言え、言ってしまえ……お前のかわいいおねだり姿私に見せてくれ……

ん？ もっと大きな声で言わないと聞こえないなあ……クスクス、なんだって？

クスクス、よく言えたな、いい子だ……

ほら、扱くスピード上げてやろう……匂いもしっかり嗅ぐんだ……

ほーら、又チ又チ、又チュ又チュ……乳首又チ又チ又チ、って……

ちんぽも乳首もぐちやぐちやできもちいいな……

もう我慢しないでいいんだぞ……そのまま情けなく敗北おもしろいような……クスクス。

ほら、ほらほら……もう限界か？ いいぞ……頭からっぽにしていっぱい出すんだ……ほら、命令だ、足の匂い嗅ぎが情けなく敗北おもしろいんだ……ほら、イケ！ イケイケイケッ

クスクス、ぴゅっぴゅー、ぴゅっぴゅっぴゅー、クスクス、

敗北おもしろいきもちいいな……ほら、もっと出していいんだぞ、

ほら、トプトプトプ、トプトプトプー……クスクス

あーあ、情けなく射精してしまったなあ……しかも、こんなに……

私の足に負けるのがそんなに気持ちよかったのか？ 情けない顔……クスクス

明日はもったかわいがってやるからな……覚悟しておけよ……クスクス

今日もたつぷり可愛がつてやるからな……クスクス

んん？ 何故そんな反抗的な目をしているんだ？

昨日はあんなにかわいい顔をしていたのに……クスクス

ん？ 「昨日は油断しただけ」だと？

クスクス、クスクスクス……

そうかそうか……だが、はじめに言っただけ通りお前はすぐに私の物になる……

私には、お前のしてほしい事なんてぜーんぶ分かってるんだからな……

お前を落とすなんて簡単なことだ……

例えば……ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅぶっ、

んはぁ、じゅぷっ、んぶぶっ、じゅる、んじゅっ、じゅるるるっ、じゅっ、レロレロレロ、じゅるっ、んじゅぶっ、じゅるるるっ、じゅぶっ、んぶぶっ、じゅぶぶっ、んぶぶっ、じゅる、んじゅっ、んはぁ……はぁ……

ほーら、キスされてただけでもう頭の中真っ白……顔がトロトロになってるぞ……クスクス

お前は私の言うことを聞いていればいいんだ……

そうすればお前は殺されないし気持ちいいこともしてもらえるんだ……

そんなに私の言いなりになるが嫌ならこう考えるんだ

今はアイツの言う事に従ったふりをして様子を見てチャンス进行と、チャンスが来たらここから逃げだせばいい……クスクス。

どうだ？ 私の言う事を聴く気になったか？

そうか……いい子だ……

命令だ、今日はお前のオナニーを見せろ……

手枷されてても出来るだろう？

お祈りするみたいに両手でちんぽ握ってシコシコするんだ……

ん？ 今更何を恥ずかしがっている……

昨日はもつと恥ずかしい事をしていたじゃないか……クスクス。

それにお前のこーこ、お・ち・ん・ぽ

もうこんなにパンパンになってる……クスクス。

私とキスしただけでおっきくなってしまったんだろ？

キスが好きなんだな……クスクス。

だったら、上手にシコシコってオナニーできたらあとでもっーとキスしてやる……

ねっとしりしたやらしいキスをな……

だから……な？ 私にお前のかわいいオナニー姿……見せてくれ……クスクス。

ほら、私はここに座って見てやるからな……
さあ、始めるんだ……クスクス。

どうした？ 私に見られるのが恥ずかしいのか？
恥ずかしくてもやるしかないんだ……ほら、早く始める……

クスクス……はじまったはじまった……

ほう……お前はそんな風に握るのか……スピードはそのぐらいで……ふうん……

クスクス、耳まで真っ赤になってるぞ……それに息もだんだん荒くなってき……

なあ、本当は見られて興奮しているんだろ？

お前は変態だもんなあ……情けなくシコシコしてる姿を私に見てほしいんだよな？

クスクス、しつかり見てるぞ……

ほら、もっと私に見せてくれ、恥ずかしくて情けな……いお前のオナニー姿……クスクス。

せっかくだ、手伝ってやろう……

ほら、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ

クスクス、私がシコシコ言う度に、手が声に合わせてシコシコしてるぞ……

オナニーすら私に命令されたいのか？

いいぞ、もっと言ってやろう……

ほら、シコシコシコシコ、シコシコシコシコシコ

このリズムを忘れるな……クスクス。

そういえば今日は何をオカズにしているんだ？

昨日の事を思い出してるのか？ それともさっきの唇や舌の感触かな……クスクス

違うよな？ 私をオカズに扱ってるんだよな……隠してるつもりだろうがバレバレだ……

私の下着……見えそうなんだよな？ クスクス、見たければ見てもいいんだぞ？ これは見せて
いるんだからな……

ほーら、私の下着……どうだ？ 足を組んだ先に見えるエッチな布……足を組み替える度に下着

がチラッチラッ、って見えてたまらないんだよな？

いいんだぞ、私の下着をオカズにして……ほらほら……

クスクス、許可を出した途端、食い入るように見つめて……しごく手が早くなって……

クスクス、本当にお前は情けないな……敵の下着に欲情してしごく手が早くなるなんて……

ほーら、こうだったろう？

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ……

思い出したか？ クスクス。

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ……

なあ、私の下着もっと近くで見たくないか？ クスクス、見たいよな？

ほら、こうやって足を開いて……もっと近くで見たいんだぞ……

もっと、もっとだ……もっと……そう、そこだ、クスクス

ほーら捕まえた……足でお前の頭をぎゅーって……クスクス。

下着近すぎて見えなくなってしまうたなあ……

でも、その代わりにエッチな匂いがしてきただろう？ 甘酸っぱくてエッチな匂い……

頭がクラクラするだろ？ クスクス。

ほら、そのまま深呼吸だ……吸って……吐いて……吸って……吐いて……昨日は足の匂いを覚えこまされて、今日はおまんこだ……クスクス。しつかりと脳に私の匂いを刻みつけるんだ……これがご主人様の匂いだぞ……

クスクス、そのまま私の匂いを嗅ぎながらオナニー続けるんだ……私の甘酸っぱい匂いに包まれてシコシコ、コスコスって私に命令されながらみつともなくちんぽしごくんだ……

ほーら、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ……

さっきからしごく音がニチャニチャっていやらしくなってるぞ……私の匂いで我慢汁おもらししてしまったのか？ ……クスクス。

それに声も早くなつて……気持ちいいなあ……クスクス。

ご主人様の匂いを嗅ぐとすぐ発情してしまう情けないちんぽ……もつと扱くんだ……いいぞ、もつともつと私の匂いを覚えて気持ちよくなるんだ……クスクス。

ほら、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ……

ん？ こら、何を勝手に舐めている……

私は匂いを嗅げとிட்டんだ……舐めるなど一言も命令していないぞ……

クスクス、これはお仕置きが必要だなあ

そうだなあ……罰としてシコシコゆつくりにしてやろう……

シーコシーコシーコシーコ……クスクス。

せつかく早くしてもらつて気持ちよくなつてたのに、余計な事するからゆつくりになつてしまったな……クスクス。

エッチな匂いに包まれて早くシコシコしてぴゅっぴゅーって気持ちよく射精したいのに手がゆつくりで射精できなくてもどかしいなあ……

ほら、シーコシーコシーコシーコ……

ん？ どうした？ そんな悲しそうな顔して……クスクス。速くシコシコ言つて欲しいのか？

クスクス、これはオナニーなんだからで勝手に速くすればいいじゃないか……

私は、声を手に合わせろ、なんて一言も言っていないぞ……

それとも、私に指示されないとオナニーすることも出来ないのか？ んん？

クスクス、違うよな……私の声に従いたいんだよな？

私にシコシコってオナ指示してもらつて気持ちよくなりたいんだだろ？

だったら、何て言えばいいか分かるよな？

上手におねだりできたらシコシコ言うの早くしてやる……

ほら、言ってみろ……シコシコ早くして下さいって……クスクス。

上手におねだりできるかなあ？

はい、よく出来ました♡ クスクス……
じゃあ、シコシコ早くしてやるからな……

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ

私の声をよく聞いて、しつかり気持よくなるんだ。
もちろん、私がいいと言うまで射精してはダメだ？　クスクス、

オナニーも射精もゼーんぶ私に支配されて情けなくおねだりして射精させてもらう……
それでいいんだ、全部私に委ねてしまえ……そうすれば気持ちよくしてやるからな……
クスクス、もう私の声と匂いで頭がいっぱいだな……
もっと嗅ぎやすいように私のおまんこ、顔に押し付けてやろう……
ほらほらっ……クスクス、苦しいか？
でも、お前はそれが好きなんだろ？　苦しくて私の匂いにつつまれて幸せだな……

ほら、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ

ん？　もう出そうなのか？

クスクス、まだだ、まだだめ……

もう一回おねだりしないと射精許可してやらないぞ……

ほら、もう一回お願いしてみろ……今度は射精させてくださいって……クスクス。
今度も上手におねだりできるかなあ？

はーい、よく出来ました♡

クスクス、いいだろう射精を許可してやる……このまま私の匂いに包まれて射精しろ……
射精する時は、私の名前を呼びながら射精するんだ……クスクス。

ほらほら、お前の大好きな命令だ、出せ！　ご主人様の匂いを脳に刻みながら射精するんだ
ほら、イケイケイケ、イケ、イケ、イケ

はーい、どびゅ、どびゅどびゅどびゅー、びゅるびゅるびゅるー、

私はここにいるぞ……ちゃんと見てるからな……

ほら、びゅっびゅー、ドブドブドブー、びゅっびゅっびゅー

お前のオナニー姿とてもかわいかったぞ……クスクス。

ちゃんと私の命令に従ってシコシコできたな、偉いぞ……よしよし……
約束通りいっぱいキスしてやるからな……クスクス……

ほら、約束のキスだ

ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、んじゅぷっ、じゅるるっ、じゅぷっ、んぶぷっ、じゅる、んじゅっ、
じゅるるるっ、じゅっ、じゅるるっ、じゅぶぶぶ、ちゅぶっ、レロレロレロ、んじゅぶっ、じゅ
るっ、じゅぷっ、んぶぶっ、じゅぶっ、ちゅっ、んじゅぷっ
ちゅぶ、はあ……はあ……クスクス。

射精したばかりなのに、またこんなに大きくして……クスクス。
ほーら、もう一回……

ちゅ、ちゅっ、んじゅぷっ、んぶぶっ、じゅる、んじゅっ、レロレロ、じゅっ、じゅるるっ、
じゅぶ、んじゅぷっ、じゅるるっ、じゅぷっ、んぶぶっ、レロレロ、じゅぶぶっ、じゅるるっ、
じゅぷっ、んぶぶっ、じゅる、
んはあ……はあ……クスクス。

頭の片隅では抵抗しなければいけないとわかっていても……もう無理
なぜなら……お前は私のことが大好きだから……

こうやって……ぎゅーって抱きつかれて、耳元で囁かれるだけでお前はもう何もできない……
それに……ほーら、私のあまーい匂いがするだろう？

お前の大好きな匂いだ……嗅ぐと頭真っ白になってしまうな……クスクス。

自分より強くて、命令して気持ちよくしてくれるアデーレが大好き……

アデーレ様に負けない、アデーレ様に屈服したい、アデーレ様に支配されたい……

お前の頭の中はもう私でいっぱいだ……

お前のちんぽもさつきより固くなってるぞ……クスクス。

次は何をしてくれるか期待してしまっているんだろう？

仕方ない奴だ……いいぞ……もっと私でいっぱいにしてやる……

ほら、これ……お前がさっきからずっと匂いを嗅いでいた私の下着だ。
これを……さっきまで私のアソコ、おまんこが触れていた部分を……亀頭に被せて……
ほーら、できた。やらしいな……クスクス。
この状態でちんぽしごいてやるぞ……私の下着とセックス……

クスクス、セックスって聞いてちんぽビクンって……
お前のちんぽ本当に素直で可愛いな……

ほーら、行くぞ……下着とのニセモノセックス……クスクス。
シーコシーコ、シーコシーコ……
どうだ？ さっきまで私が履いていた下着とのセックス……
一日中履いていたんだ……色々なものが染みこんでるだろうなあ……
汗や……匂い……それにおしっこなんかも……クスクス。

息が荒くなってるぞ……想像して興奮してしまったのか？ クスクス。
我慢汁があふれてきて、下着にやらしいシミができてしまったなあ……
下着とのセックス……そんなに興奮するのか？

クスクス、ほら、こつちをむいて舌を出せ

んじゅぷつ、じゅるるっ、じゅぷつ、んぶぷつ、じゅる、んじゅつ、じゅるるるっ、じゅつ、レ
ロレロレロ、じゅるっ、じゅぶぶぶ、んじゅぷつ、じゅるるっ、じゅぷつ、んぶぷつ、レロレロ、
じゅぶぶつ、んはあ……はあ……

キスしながらシコシコってもらおうのどうだ？ 気持ちいいだろう？
お前がちゃんと私の命令に従っていればこうやって気持ちいい思いが出来るんだ……
だから、これからも私の命令には従うんだぞ？ いいな？

クスクス、もう抵抗する気がないみたいだな……いい子た、ほら、もっとキスしてやろう

ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、んじゅぷつ、じゅるるっ、じゅぷつ、んぶぷつ、じゅる、んじゅつ、
じゅるるるっ、じゅっ、じゅるるっ、じゅぶぶぶ、ちゅぶつ、レロレロ、んじゅぷつ、レロレロレ
ロ、じゅるるっ、じゅぷつ、んぶぷつ、じゅぶつ、ちゅっ、んじゅぷつ
ちゅぷ、はあ……はあ……

クスクス、大好きなご主人様にキスしてもらえて幸せだなあ……
はあはあって息荒くなって、口から涎がダラダラでてきているぞ？
ちんぽからもキスする度に我慢汁溢れてやらしいシミが広がってる……
私の下着が我慢汁で妊娠してしまいそうだ……クスクス。

反対の手で乳首触ってやろう……
ほーら、乳首の周りをさわさわ、さわさわ……クスクス。
まだ直接触ったわけでもないのに……あつあつ、って声漏れてるぞ……クスクス。

さわさわ……さーわさわ……

ん？ どうした？ そんな顔して……直接乳首触って欲しいか？
クスクス、どうするかなあ……

触って欲しかったどうすればいいかわかるよな？
そうだ、おねだりだ……クスクス、上手にできたら乳首触ってやるぞ？
ほら、上手におねだりできるよな？　さんはい……

クスクス、よく言えたな、いい子だ……

ほら、乳首クリクリ……クリクリ……クリコリ……クリコリ……

少し触っただけなのにもう乳首固くなってるぞ……

それに、体もビクビクして……そんなに乳首感じるのか？　ん？

いっぱい弄ってやろうな……ほら、コリコリ、コリコリ……

クスクス、乳首弄られながら下着に犯されて喜んでるだけでも恥ずかしいのに、
喘ぎ声まで漏らして……お前は本当にどうしようもない変態だな……

だが、私はそんなお前が大好きだぞ……だから我慢しないでいいんだ、可愛い声もつとつと私
に聞かせてくれ……

コリコリ、シコシコ、コリコリ、シコシコ……クスクス。

ほら、口を開けてこつちを向け……ツバ飲ませてやる……

んん、ぐちゅぐちゅ……んあー

クスクス、ご主人様の味はどうだ？

ん？　もつと欲しいのか？

いいぞ、ほら、んんあー　ススッ

しつかり味わうんだぞ……ん？　まだ足りないのか？

クスクス、仕方のないやつめ……今度は直接流し込んでやろう……

んあー、じゅるるっ、じゅぷっ、んぶぷっ、じゅる、レロ、レロレロレロ、んじゅっ、じゅ
るるるっ、じゅっ、じゅるるっ、じゅぶぶぶ、ちゅぶっ、んじゅぷっ、じゅるるっ、じゅぶっ、んぶ
ぶっ、じゅぶっ、ちゅっ、んじゅぷっ
ちゅぷ、はあ……はあ……

クスクス、乳首もチンポも口も全部犯されてもう頭がトロトロで何も考えられない……
気持ちよくて腰が勝手に動いてしまうなあ、クスクス。

いいんだぞ、気持ちよくなって……どんなに情けない姿でも私はお前の事が大好きだぞ……クス
クス。

お前も私の事好きだろう？

だったら、好きって言ってみろ……アデーレ様の事が大好きですって……

そうすればもつと気持ちよくなれるぞ……今の素直なお前なら言えるだろう？

ほーら……言え……言うんだ……

クスクス、小さい声だったがちゃんと言えたな、偉いぞ……

もつとだ、もつと聞かせてくれ、ほらほらあ……

いい子だ、よく言えたな……射精するまでずっと言い続けるんだ……好き、好き、って……クス
クス。

ほーら、シコシコシコシコ、クスクス、乳首もいっぱい弄ってやろう……クニクニクニクニ……

好き好きーって言いながらちんぽと乳首いじってもらって……幸せそうな顔して……
クスクス、もう身も心もぜーんぶ私の物だ……

最後にお前の口から聞かせてくれ……お前が誰のモノなのか……
クスクス、何も考える必要はない、お前はもう私のモノなんだから……
何も考えずにそのまま答えるだけでいいんだぞ、そうすればもっと気持よくしてやるぞ。
ちゃんとさえたらご褒美にキスしながら射精させてやる。

私の下着に気持よく中出し、させてやるぞ……クスクス。
言えないならキスはおあずけだ、中出しもさせてやれないぞ？
キスしながら私の下着にな・か・だ・し、したいよな？ クスクス。

だったら、言うんだ。
お前は誰のモノだ？ 私に聞かせてくれ……

クスクス、よく言えたな、いい子だ、えらいぞ……
ほら、ご褒美のキスだ。

ちゅゅっ、んちゅっ、ちゅっ、んじゅぷっ、じゅるっ、じゅぷっ、んぶぷっ、じゅる、んじゅっ、
じゅるるるっ、じゅっ、じゅるっ、じゅぶぶぶ、ちゅぶっ、じゅぷっ、んぶぶっ、じゅぶっ、
ちゅっ、んじゅぷっ
もうイキそうなんだろう？ んちゅっ、キスしながら腰動いてしまってるぞ？ ちゅっ、ちゅっ、
んじゅぷっ、じゅるるっ、
いいぞ、んちゅっ、そのまま私の下着に、んふう、出してしまえ
んちゅっ、んんっ、じゅるるっ、
ほら、ほらほらあ、ちゅぶっ、ちゅっ、命令だ、んちゅっ。
私の下着に中出しだ、じゅるるるっ、イケ、んちゅっ、イケイケ、んちゅ、イケ、んじゅるるる
るるっ

んクスクス、ちゅっ、ちゅっ、レロレロ、んじゅぶ、じゅるるる、ちゅぶ、ちゅぶ、
じゅぷぶ、んちゅ、ちゅ、ちゅっ、レロレロレロレロ、ちゅぶ、ちゅぶ、じゅぷぶ、んちゅ、
ちゅぶっ……

クスクス、いっぱい出せたな……いい子だ、ちゅっ。
イってる姿、とても可愛かったたぞ、

クスクス……もう拘束する必要もないな……枷（かせ）をはずしてやろう

よし、外れた……これで自由だ……
ん？眠そうだな……そうか、いっぱい出して疲れたのか……いいぞ、このまま寝てしまえ……
大丈夫、処理は私がしておいてやろう……ゆっくり休め……

おやすみ……明日もいっぱい楽しもうな……クスクス……ちゅっ

ん？何処へ行こうとしているんだ？

まさか、逃げようとしてるんじゃないだろうなあ……

そうだとしたら悲しいなあ……昨日はあんなに好き好きって言ってくれてたのに……クスクス

ん？ アレは私を油断させるための演技だったのか？

そうか、そうだったのか、まんまと騙されてしまったぞ……クスクス
なーんて……はい、

捕まえた……ぎゅーっ……

ほーら、お前の大好きなご主人様の匂いだぞ……

これでもうお前は私に逆らえない……私のおもちやに逆戻りだ……クスクス。

匂いだけで頭の中私でいっぱいだな……それに、ちんぽもこんなに固くして……

逃げようとする悪い子にはたーっぷりお仕置きしてやるからな……クスクス。

04「逆正常位」

ほら、着ているものをすべて脱いでそこに寝るんだ……

そして、足を抱かかえるように広げて……そう、そうだ……
とても情けない格好だぞ……見下ろされて股を広げ、ちんぼビンビンに勃起させて……

クスクス、今からお前は私に犯されるんだ、女みたい上からズンズンって……
逆正常位と言えれば分かるか？

クスクス、ちんぼがさっきよりパンパンになってるぞ……
私に犯されるの想像して興奮してしまったのか？ やらしいやつめ……やっぱりお前は変態だな
……クスクス。

ほら、くちゅくちゅって……ちんぼ、おまんこに当たってるぞ……クスクス、嬉しいだろ？
夢にまで見た私のお・ま・ん・こ……犯しながら、しっかり教えてやる……お前が誰のモノなのかをな……クスクス。

ほら、ちんぼ入ってしまうぞ……ずぶぶぶって……
ほら、ほら、ん、ん……

クスクス、全部入ってしまったな……

どうだ？ 私の中は……熱くてトロトロで……ふふっ、たまらないだろう？
クスクス、入れただけでだらしない顔になってるぞ……
私の中がキモチいいのは分かるが、しっかり私の目を見るんだ……自分が犯されてる事を自覚しろ……クスクス。

ほら、動くぞ……パンパン、パンパンパンパン、クスクス。

女みたいな格好で犯されるのはどんな気分だ？

こんな格好じゃ自分で動くこともできないな、一方的に犯されるだけだ……

でも、それが嬉しいんだよな？ みっともない格好で犯されるのが……クスクス。

もっと犯されたい、もっとめちやくちやにして欲しい……

大好きなアデーレ様に犯してもらえて幸せ……そうだろう？クスクス。

お望み通り、もっと犯してやる……

クスクス、ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、じゅぷっ、んぶぷっ、じゅる、んじゅっ、じゅるるっ、
じゅっ、じゅるっ、んじゅぷっ、じゅるるっ、レロレロ、じゅぶぶ、ちゅぶっ、レロレロレロ
ぷぷ、んじゅぷっ、じゅるっ、じゅぷっ、んぶぶっ、じゅぶっ、ちゅっ、んじゅぷっ、じゅ

ちゅぷ、はぁ……クスクス

口も犯されてもつとトロトロになってしまったな……口開けて涎まで垂らして……お前は本当に
キスが好きだな……

ほら、ツバも飲ませてやろう……口を開ける……

んぐちゅぐちゅ、んんあー

じゅるるっ、じゅぷっ、んぶぶっ、じゅる、レロ、レロレロレロ、んじゅっ、じゅるるるっ、
じゅっ、じゅるっ、じゅぶぶ、ちゅぶっ、んじゅぷっ、じゅるっ、じゅぷっ、んぶぶっ、じゅ
ぶっ、ちゅっ、んじゅぷっ
ちゅぷ、はぁ……はぁ……

次はぁ……みーみ

はむ、んちゅっ、れろっ、れるれる、んじゅるるっ、じゅぷっ、んぶぶっ、んれろっ、んじゅっ、
んじゅじゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅるるっ、んれろ、れるれろれろ、んちゅっ、じゅるっ、
すーお、れろれろれろ、んじゅるるっ、じゅぷっ、んぶぶっ、んれろっ、んじゅっ、
はーんじゅっ、じゅぷっ、んぶぶっ、んれろ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅるるる、はぁ……

クスクス、かわいい声がいっぱい出て、ますます女みたいだぞ……クスクス。

もつと頭の中トロトロにしてやるから……

お前の弱点なんてぜーんぶお見通しなんだ……

たとえば……好き……好きだぞ……大好きだ……好き好き……だーいすき……すーき……ふー

ほら、嬉しくてちんぽビクビクしてるぞ……クスクス。

これを同時に攻めたらどうなってしまうんだろうな……

こうやって……

はむ、んちゅっ、れろっ、れるれる、すき……んじゅるるっ、じゅぷっ、んぶっ、んれろっ、んじゅっ、んじゅじゅっ。んちゅっ、ちゅっ、ちゅるるっ、すき、すきだぞ……ちゅっ

◇(ここから耳の穴に舌を入れて攻めるイメージで)

はー、じゅぷじゅぷじゅぷ、ぬちぬち、じゅるっ、

すーき、クスクス、んじゅっ、ぬちゅっ、ぬちぬちぬち、んちゅ、んはあー、ちゅぶぶっ、

ぬちぬちぬちぬち……ふー……クスクス。

耳犯されながら好きって言われる度に頭が痺れて脳が犯されてるみたいだな……

好き好きって声が漏れてしまってたぞ……だーいすきなご主人様に好きって言われて気持ちちが抑えられなくなってしまったのか？ クスクス。

もっと私の事すきになっていいんだ……私たちは「相思相愛」なんだからな……クスクス、クスクスクスクスッ……

命令して気持ちよくしてくれるご主人様がだーいすき……

大好きなご主人様に耳舐めしてもらいながら、好き好きーって言われて、もう頭の中ぐちゃぐちゃで何も考えられないな……クスクス、いいんだぞ……何も考えずに好きって気持ちでいっぱいにするんだ……

すき、すきすき……だーいすき……ご主人様に犯されるのきもちいいなあ……

ちんぽも頭も溶けてしまうなあ……クスクス。

このまま大好きなご主人様に犯されながら……しゃ・せ・い、したいだろ？
だったら、私に言うことがあるよなあ？ んん？

違う、そうじゃないだろう？

わからないのか？ 仕方ないやつだ……

いいか、お前は悪いことをしたんだから、ちゃんと私に謝らないとダメだろう？
ゴメンナサイ、しないとな？

ちゃんと謝っていい子にならないとびゅっびゅさせてやらないぞ？ クスクス。

ご主人様に犯されながらびゅっびゅ……

昨日みたいなニセモノじゃなくて本物の、な・か・だ・し、したいよな？ クスクス。

じゃあ、言えるよな？ ゴメンナサイだ……

んちゅっ、よく言えたな……でもまだダメだ。許さない……

私がいいと言うまでゴメンナサイって言い続けるんだ……何度も何度も……

もちろん勝手に射精するのもダメだぞ……クスクス。

ほらほら、パンパンッ、パンパンパンパンパンッ……クスクス。

犯されながらしっかりゴメンナサイするんだぞ……心から謝るんだ……

ご主人様大好きです。もう逆らいません、いい子になりますーって……クスクス。

ほらほら、もっと謝らないとびゅっびゅさせてもらえないぞ、クスクス。

そんな謝り方じゃ全然伝わらない、もっともつと媚びた声で謝まるんだ……
ゴメンナサイ、ゴメンナサイ、つて……クスクス。

最初はあんなに反抗的だったのに今では必死に謝りながら犯されてる……
かわいいぞ……もつともつと犯してやりたくなる………クスクス、

はむ、んちゅっ、れろっ、れるれる、んじゅるるっ、じゅぷっ、んぶぷっ、んれろっ、んじゅっ、
んじゅじゅっ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅるっ、んちゅっ、じゅるっ、
ほらほら、んちゅっ、もつとごめんなさいしないと、んじゅっ、許してやらないぞ、
はー、じゅぷじゅぷじゅぷ、ぬちぬち、んじゅっ、ぬちゅっ、ぬちぬちぬち、んちゅ、んはあー、
ちゅぶぷっ、ぬちぬちぬちぬち……んはあ……クスクス。

ああん、そんなに必死にしがみついてごめんなさいごめんなさいって……
もう出そうなのか？ クスクス。

まだまだ許すつもりはなかったが、そんなにかわいく謝られては仕方無いな……
そろそろ許してやる……

出す時は私にぎゅーって抱きついて、匂いを嗅ぎながらいっぱい出すんだ……
もちろんゴメンナサイも忘れちゃだめだぞ……

ほら、ほらほら、パンパンッ、パンパン。パンパン。パンパンッ

クスクス、私にお前の射精するかわいい姿見せてくれ……

ほーら、お前の大好きな命令だ……謝りながらながら射精しろ……
ほらイケ、イケイケイケイケ、イケ

はーい、びゅっびゅっびゅー ♪ ゴメンナサイ、ゴメンナサイ ♪
クスクス、いっぱいゴメンナサイ出来て偉いな……いい子だ……よく頑張ったな、もう気持ちよ
くなっているんだぞ……ほら、びゅーびゅー ♪ びゅるびゅるびゅるー ♪ びゅっびゅっびゅー ♪

クスクス、いっぱいゴメンナサイできたな、

これでもうお前はちゃんと私の言う事聞けるいい子だ……

よしよし……素直な子は好きだぞ……もう許してやる……
クスクス、呆けた顔して……そんなに気持ちよかったのか？

かわいいぞ、んちゅっ、ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ、んじゅぷっ、じゅるるっ、じゅぷっ、んぶ
ぶっ、じゅる、んじゅっ、じゅるるるっ、じゅっ、レロレロレロ、じゅるっ、じゅぶぶぶ、ん
じゅぷっ、じゅるるっ、じゅぷっ、んぶぷっ、じゅぶぷっ、んはあ……クスクス。

今度こそ、お前は私の物……おもちやの完成……

これからいっぱい遊んでやるからな……クスクス、クスクスクスク……

まずは服を脱いでベッドに座るんだ……

ああ、お前は動けないんだったな……仕方無い……私が脱がせてやろう……

クスクス、威勢はいいのにちんぽは小さくてかわいいな……それに皮かむり……ん？ どうした？ ちんぽ見られるの恥ずかしいのか？

そうだよな、こんな情けないちんぽ、見られるの恥ずかしいよな……

でも大丈夫だ、私は好きだぞ。おまえのちんぽ……かわいいじゃないか……クスクス。すぐに気持ちよくしてやるからな……

ほーら、お前の舐めたがつていた足だぞ……だが、まだ舐めるな……

まずは足の匂いを嗅げ

ご主人様になる者の匂いだ、しっかり覚えておかないとなあ……

どうだ？ 私の足の匂いは……ブーツでムレムレになってるだろう……クスクス。

ちよつと匂い嗅いだけでもう息が荒くなって……

そんなに足の匂いが好きなのか？ この変態め、クスクス。

そんなに好きなら、嗅ぎやすいように顔に押し付けてやろう……

ほら、そのまま深呼吸してみろ……吸って……吐いて……吸って……吐いて……

クスクス、いいぞ、その調子だ……吸って……吐いて……吸って……吐いて……

どんどん息が荒くなっているな……そんなに私の足の気が気に入ったのか？ クスクス。

ほーら、もっと嗅いでご主人様の足の臭いをしっかり覚えるんだ……

ほら、ほらほらっ、お前のような変態にとってはたまらん匂いだろう？

嬉しくてさっきらかちんぽもビクビクしてるもんああ……クスクス。

違う？ 何が違うんだ？ お前は足の匂いで興奮する変態だろう？

その証拠に……ほーら、お前のちんぽ……さっきより硬くなってるぞ、クスクス。

足の臭いを嗅がされて興奮してしまったんだろ？

上辺をとりつくろった所で誤魔化しきれないぞ……

本当は嬉しくて嬉しくてしょうがないくせに……クスクス。

ほう、まだ否定するのか？

では、お前の体にしっかり教えてやろう……お前が変態のマゾだと言うことを……

ほら、命令だ、私の足を舐めて綺麗にしろ

お前の為にわざわざ脱いでやったんだ……しっかり舐めるんだぞ……

まずは足に口づけをするんだ……恋人にキスするように優しく、愛おしそうに……ふふっ、そうだ。よくできたな……えらいぞ……

次は指いっぽんいっぽん丁寧にしゃぶるんだ……指の股もしっかり綺麗にするんだぞ……ん……ん……そうだ……いいぞ……いい子だ……随分素直になってきたじゃないか

クスクス、ご褒美にお前のだーい好きな足でマゾちんぽ踏んでやろう……

ちゃんと命令に従っていれば気持ちよくしてやるから……

いくぞ……ほーら、私の綺麗な足がお前のちんぽを……ぐぐって……

ほら、ほらっ……クスクス……んっ……んっ……

どうだ？ うれしいだろ？ ちんぽ踏んでもらえて……

クスクス、お前のマゾちんぽ、もっと踏んでくれと言わんばかりに私の足をグイグイ押し返して来るぞ……体は素直だな、かわいい奴め……このまま踏みつけながら足を上下に動かして刺激してやろう……

ほら、スリスリ……スリスリ……ズリズリ……ズリズリ……

どうだ？ 足を舐めながら、ちんぽを足でもあそばせる気分は……最高だろ……クスクス。ちんぽこんなに固くして……最初の威勢はどうした？ ふふっ

ん？ ああ、そうだったな……私の言う事を聞かないと殺されてしまうもんな？

お前は仕方なく足の臭いを嗅いで、仕方なく足を舐めて、仕方なくちんぽ踏まれてるんだよね……

左耳へ

クスクス。

でも、何でだろうなあ……お前のちんぽ、先っぽから涎をだらだら垂らして喜んでるみたいだぞ？

こんなに我慢汁垂らして必至に足をしゃぶってるのいるに……仕方なく、なのか？ クスクス、違うだろう？

本当は気持ちよくて仕方ないんだろ？

見下（みおろ）されて、足をしゃぶりながらマゾちんぽ踏まれるの気持ちいい……

いくら否定しようがお前はどうしようもなく変態でマゾなんだ……

命令されて虐められるのが嬉しくて嬉しくて仕方無い、女の人に負かされて屈服したい……

お前はそういう人種なんだ……

ほうら……今もなじられて、我慢汁ドロドロ溢れてきたぞ……

我慢汁のせいでマゾちんぽ踏まれる度に。いやらしー音、出てるぞ……

ヌチヌチ、ヌチヌチヌチューって……いやらしいなあ……えっちだな……クスクス。

さつきから足が動かす度に、あっ、あっ、って……女みたな声出てるぞ……

男なのにそんな情けない声出して良いのか？ クスクス。

今の情けない姿をお仲間が見たらどう思うだろうなあ……

敵の足に負けてよがってる姿を見た仲間はお前を軽蔑するだろうなあ……

見捨てられるかもしれないぞ……クスクス

私はお前がどんなに情けなくてもお前の事を見捨てたりしないぞ……ずっとずーっとかわいがってやるぞ……虐めてなじって命令してやる……クスクス

ほら、お前のちんぽは嬉しくてビクビク返事してるぞ……お前のちんぽは本当に素直だな……

なあ、この我慢汁でヌルヌつになったマゾちんぽに私のツバを足したらどうなるだろうなあ……もーっとヌルヌルして気持ちいいと思うんだが……クスクス。

どうだ？ ツバたらして欲しいか？ たらして欲しいよなあ……

もっとヌルヌルぐちよぐちよにして足でズリズリーって……気持ち良い、あ・し・コ・キ……クスクス

ツバを垂らして欲しかったらしっかり足を舐めるんだぞ……しっかり舐める事ができたらツバ垂らしてやるからな……

んんっ、クスクス、いきなり激しく舐め回されてはくすぐったいだろう？ クスクス、そんなにツバ垂らして欲しいのか？ いい子だ……

もうすっかり抵抗する気もなくなったようだな……気持よくなることで頭がいっぱい……かわい
いぞ……

ほら、ツバを垂らしてやろうな……ぐちゅぐちゅ……んああー……ススス……
クスクス……ほーら、お前の我慢汁と私のツバが混ざりあって、さつきよりぐちゅぐちゅだ……
ヌルヌルして気持ちいいな……いやらしい音も大きくなって、ヌチヌチ、ヌチュヌチュ……

……エッチだな……クスクス
ほら、もつと気持ちよくなっていんだぞ……ヌルヌルちんぽ踏まれてきもちいいな、
足ももつと舐めていいんだぞ……クスクス。

でも、このままだと、お前は敵の足に犯されて射精してしまうぞ？ 情けなく敗北おもらし……
いいのか？

クスクス、本当はわかってるんだろ？ 負けちゃダメだって……でも、もう気持ち良くなる事で
頭がいっぱい……もう何も考えられない……もつともつと気持ちよくなりたい……敗北おもらし
したい……

クスクス、煽られて……興奮してしまったのか？ 亀頭パンパンになってるぞ……
もう射精しそう？

ダメだぞ、勝手に射精するのは許さん……簡単に射精させて貰えると思ったら大間違いだ……
射精したかったら、ちゃんとおねだりしないと……情なく射精お・ね・だ・り……

「僕は変態マゾです。アデーレ様射精させて下さい」

と言うんだ、そうすれば射精許可してやるぞ……クスクス。

どうだ？ 迷う事などないだろ？ 変態と認めて射精おねだりするだけで気持ちよく射精させて
もらえるんだ……

それに、敵に射精をおねだりするなんて屈辱的な事……お前がしないはずないよなあ？ クスク
ス。

ほら、変態と認めて射精おねだりしてしまえ……そうすれば気持ちよーく、
ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅっぴゅーってできるんだぞ……クスクス。

ん？ もつと大きな声で言わないと聞こえないなあ……クスクス、お前はなんだって？

クスクス、よく言えたな、いい子だ……

ほら、扱くスピード上げてやろう……足もしっかりしゃぶるんだ……
ほらほらほら……ヌチヌチ、ヌチュヌチュ……クスクス。

もう出るぞ、出るぞ……

いいか、お前は私の足に負けてイカされるんだ……
しかも、射精させて下さいと射精おねだりまでして、情けなく敗北おもらしさせてもらうんだ……
……良く覚えておくんだぞ……ほら、命令だ、足を舐めながら情けなく敗北おもらしだすんだ……
ほら、イケ！ イケイケイケ！

あーあ、情けなく射精してしまったなあ……しかも、こんなに……
私の足に負けるのがそんなに気持ちよかったのか？ 情けない顔……クスクス。
明日はもったかわいがってやるからな……クスクス、クスクスクスクス……

